

# 「外遊び」

子どもは「おもしろそうだ!」と感じたものに反応し、自分であそびをつくりだします。のびすく若林の外遊びプログラムでは、たくさんの遊びが生み出されていました。子ども、特に幼児はどんな環境でもあそびを見つけます。

この時期、植物や昆虫など子どもの興味を引くものがいたるところにあふれています。「面白そうなモノを探しながら散歩しよう」と、家の近所を散歩するだけでも、子どもはたくさんの遊びを見つけるでしょう。もちろん、楽しもうとする心、面白い物を探そうという感覚があれば、大人だって十分に楽しめます。

脱・遊具の外遊び、やってみてはいかがでしょうか。



ベビーカーや抱っこで外を歩いている時に、顔にあたる風を感じたり、木の葉がそよそよと揺れている音を聞くだけでも刺激となり、赤ちゃんにとってはステキな冒険です。

流れていく笹船に「バイバイ」と手を振りながら子どもと見ているのも楽しいです!

